



クラブ 会報

CLUB BULLETIN (WEEKLY)

鶴岡ロータリークラブ

TSURUOKA ROTARY CLUB

D-253

創立 S 34.6.9

承認 S 34.6.27

例会場	鶴岡市馬場町	物産館3階ホール
例会日	毎週火曜日	12:30~13:30
事務所	鶴岡市馬場町	商工会議所内
		電話 0235 247711

会長	嶺 光	吉 衛
幹事	岸 藤	村 德
会報委員長	川 小	池 繁
	西 海	藤 正
	佐 藤	一 昇

No., **1093** 1981. 2. 3 (火) (曇) No.,31

ヒンター紹介

滝 禅源君 仏教	立川R.C	
斎藤吉雄君 陶管販売	佐藤英治君 石材	} 鶴岡西R.C
笹本森雄君 ホテル	加藤重郎左衛門君 林業	

◆ ゲスト紹介

米山奨学生	エテバリ君
交換学生	ジェームス君
ユネスコ協会	菅原和夫君

◆ 誕生祝

- ◎会員誕生 早坂徳治君、斎藤得四郎君、笹原桂一君、内山喜一君
- ◎奥様誕生 池田保子様(昭太郎)、小野寺桃枝様、佐藤鷹子様(友吉)

TAKE TIME TO SERVE

時間を捧げよう 奉仕のために

◆ 皆出席表彰

◎年間皆出席

12年間皆出席 三井 健 君
8年間皆出席 佐藤 衛 君 佐藤友吉君 吉野 勲 君
6年間皆出席 菅 健 君
2年間皆出席 阿蘇 司朗 君

◎1月125%出席 1名

上野 君

◎1月100%出席 53名

秋野君、阿蘇君、池田(弘)君、張君、藤川君、早坂(源)君、早坂(徳)君、飯白君、今野君、石川君、石黒君、佐藤(陸)君、板垣(俊)君、板垣(広)君、市川君、風間君、川村君、黒谷君、小池君、小松君、三浦君、三井(徹)君、三井(賢)君、三井(健)君、嶺岸君、迎田君、本山君、森田君、中江君、野村君、小野寺君、斎藤(栄)君、佐藤(昇)君、佐藤(忠)君、佐藤(順)君、佐藤(衛)君、佐藤(友)君、横田君、佐藤(元)君、新穂君、菅原君、菅君、鈴木(弥)君、鈴木(善)君、高橋(正)君、高橋(良)君、丹下君、津田君、手塚君、富樫君、内山君、山口君、吉野君

◆ 新入会員紹介

1. 氏 名	ムラ イ ミツ ヤ	村井 光 弥 君
1. 住 所		鶴岡市若葉町20番20号
1. 出 身 地		鶴岡市
1. 生 年 月 日		昭和2年8月16日
1. ロータリー前歴		遊佐ロータリークラブ 45年～46年 寒河江ロータリークラブ 47年～48年 米沢西ロータリークラブ 49年～50年
1. 趣 味		ゴルフ
1. 家 族		村井 美 恵 S6.6.14生 長女 和 子 23才 長男 博 之 20才 大学2年

会 長 報 告

嶺 岸 光 吉 君

1. 2月23日を含む週 ロータリー創立記念日。
1. 2月22日～28日 世界理解週間。
1. 新会員、村井光弥君の委員会所属は会員増強委員会に決定致します。
1. 一時中止になりました、地区のインターアクトの研修旅行が2月15日～19日の日程で実施されますが、参加が無くクラブより青少年奉仕委員長が参加致します。
1. 1981年11月26日～29日オーストラリアのメルボルンにて太平洋地域大会が開催されます。希望者は今月中に事務局まで申し込んで下さい。

1. 先日の鰯汁会とジェームス君の歓迎会には親睦委員会、S.A.A新穂君のご協力に対し、厚くお礼申し上げます。又オークションによる多額の資金を得られましたことは社会奉仕委員長さんをはじめ、会員の皆様のご協力に対し厚くお礼申し上げます。
1. 2月1日午前11時より産業会館4Fに於いて庄内分区の会長・幹事会を開催致しました。
議題 (1) 分区代理の研修会の報告
(1) 今後の各クラブの活動
(1) 出席率の向上、次期分区代理の選任について
1時30分終了致しました。

幹 事 報 告

佐藤 衛 君

年次大会ご案内

- ① 第263地区 岐阜県多治見R.C 6月20日、21日
- ② 第252地区 仙台東R.C 4月18日、19日

◆ 会 員 ス ピ ー チ

数 寄 屋 に つ い て

新 穂 光 一 郎 君

1. 数寄屋とは
白木造りで自然の美しさを求めた茶室の事であって、茶室風民家風として現代住宅の中にも強い影響を与えている。ただ真の数寄屋は建てるのが目的で人は住まないし設計者も含めて茶の湯が出来、床の飾り、道具、材料等に目が利くことが必要とされている。
数寄屋と数寄屋風の違いは前者が木や紙等の植物を材料としたもので年代を経たもの程価値があるが、後者は合板やアルミ等の材料なので古くなると醜くなり意味がなくなる。
天正14年(1586年)に表千家残円亭が千利休によって建てられたのが茶室としての最初とされている。天正10年(1583年)に本能寺の変があり、秀吉が天下人となると大阪城の築城、聚楽台の建立と財力をかけた建築物が誕生したわけである。
2. わび、さび
わびしいもの、もの寂しいもの、静かな風景、もの淋しい心、うす汚い下卑たもの、等となるが千利休がいった“正直に慎しみ深くおごらぬ様”、“美しいと思う心”と解釈しているのが一番当を得ているように思う。ちなみに英文ではTaste for simple and quitとあり、Beautiful houseと一般には云われている。
3. 堺 普 請
当時堺港は唯一つの自由貿易港で、唐木(紫檀、黒檀)や金銀、ギャンマン等が数多く輸入され、それを扱う町人の財力も華々しいものであった。
大阪の食い倒れ、京都の着倒れ、堺の家倒れと云われているようで、堺には財力にまかして唐様風な豪華な建物が多かったといわれる。

数寄屋そのものの姿は大変質素であっても、やはり金のかかった事では共通であったが、身分制度の厳しい時代に秀吉の豪華な書院造りの陰でひっそりと息づき現代へ続いているわけである。ちなみに書院造りとは床の間、違い棚、玄関、書院があるもので、この形も現在の住居に続いているわけである。

4. 身分社会

当時の封建社会は身分が厳然と分かれていたし、その象徴が住居で現わされていた。士分であってもその禄高によって差違があったし、平民は庄屋、名主のみが門長屋を建てることを許された。又、政治献金や災害復旧等で功績のあったものが士分待遇を受けられた。庶民は門長屋を持つ、玄関をつける、帯刀を許される、という事が夢であった。

5. 独 想 性

明治以前は作意作分という言葉で表現された。家の造り方だけでなく客のもてなし室内の装飾等すべては独想性が求められた。

身分制度の確立された社会の中で、簡素な美しさを求め日陰の建築としての数寄屋が身分社会の崩壊後現代まで生きのびて来たことは特筆すべきであろう。

6. 現代数寄屋

数寄屋が近代化の手法として確立されたのは、吉田五十八氏によってである。

- a 壁 柱の見えない大壁、筋違いが入れ易い。
- b 障子 棧、縦3本という具合に粗い大組、紙の無駄をなくした。戦後の中流の家庭のパターン。
- c 鴨居 つり束をはずした。(鉄筋かピアノ線で代用)
- d 天井 大きい板の目透し。
- e 下地窓 通常は葦を使ったが、木製かアルミパイプで代用。
- f 壁材料 耐火ボード、ラス及び新壁材。
- g 居間と食堂 和洋折衷のダイニングルーム (目の高さを変えぬ事が大切)

数寄屋を造ったのは千利休が61才の時であるそうだが、彼は茶頭といわれる茶道の最高位にありながら秀吉の勘気にあい自害し果てたが、その建物は時代の推移、生活様式の変遷にかかわらず現代建築に生き続けているわけである。

◎鈴木弥一郎君かねて病氣療養中の所、今例会より元気な姿を見せ挨拶いただきました。

◎ロータリー財団寄附額が12月で3400%になった。

◎鶴岡ユネスコ協会菅原和夫君より、台湾、台中港区 R.C の協力を得てキャンプ (7/24~7/31) を張る事が決定しましたとの報告があった。

出 席 報 告

本 出 日 の 席	会 員 数	71名	欠 席 者	秋野君、池田(昭)君、藤川君、飯白君、板垣(広)君 金沢君、黒谷君、三井(健)君、西海君、斎藤(栄)君 笹原君、佐藤(昇)君、佐藤(忠)君、横田君、上 野君、渡会君
	出 席 数	55名		
	出 席 率	77.46%		
前 出 回 の 席	前回出席率	77.46%	メ ア ー ク ブ	秋野君、藤川君、板垣(広)君、本山君、小野 寺君、佐藤(昇)君、吉野君一鶴岡西 R.C
	修正出席数	62名		
	確定出席率	87.32%		